鷺ノ森遺跡

発掘調査現地説明会

主　催　和歌山市教育委員会
　　公益財団法人　和歌山市文化スポーツ振興財団
開催日　平成27年1月18日（日）
　　午後1時30分～3時
開催場所　鷺ノ森遺跡調査現場
　　城北小学校内

紀伊國名所圖會より

調査区全景（南から）

遺跡名　：鷺ノ森遺跡（第13次）
所在地　：和歌山市鷺ノ森南ノ丁１
調査期間：平成26年７月28日～現在継続中
調査面積：1200㎡
調査原因：小中一貫校建設計画に伴う校舎建て替え
主な時代：戦国時代末期～江戸時代
主な遺構：堀、道路遺構、町屋跡、寺院跡、井戸

１．はじめに

鷺ノ森遺跡は紀ノ川河口付近の左岸、鷺ノ森地区に所在する弥生時代後期から江戸時代の遺跡です。今回の調査は、和歌山市の小中一貫校建設計画に伴う校舎建て替えに先立ち、平成24年10月から継続的に調査が行われています。市立城北小学校校庭において、すでに２回（第８次、第11次）の調査を完了しており、現在は３回目（第13次）の調査を実施中です。これまでの調査から、弥生～江戸時代まで複数の遺構面（生活面）が存在することと、中世末～近世には調査地点のすぐ北側に建つ本願寺鷺森別院と、深い関わりをもつ遺跡であることが明らかになってきました。

２．調査の成果

現在、調査の途中ですが、これまでの調査成果を総合すると弥生時代後期後半（２世紀：地表下2.5m）から江戸時代（17～19世紀：地表下１m）まで７面以上の遺構面のあることがわかっています。今回、現地で公開するのは中世末～近世初頭の遺構面です。

区画整備前の道路と調査位置図